

# 鈴木ひろむ

## 後援会だより

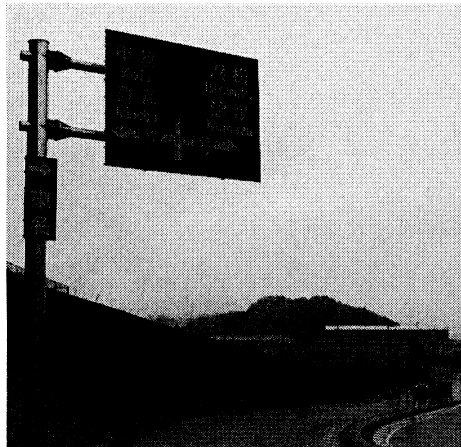
### この1年間の一般質問

#### 24年2月定例会

- ・福祉関連の支出の増加 にどう取り組むか
- ・フードバレーの今後について
- ・台風15号の復旧 特に芝川会館前の山崩れ

#### 6月定例会

- ・西の玄関口、新清水ICに「富士宮方面」の案内看板がないことについて
- ・「健康寿命」について
- ・芝川バスについて 宮タクに変更できないか



新清水インターチェンジの看板

#### 10月定例会

- ・鳥獣被害対策について 防護柵、電気柵の助成制度を策定すべき
- ・旧芝川保健福祉センターの活用策は
- ・花いっぱい事業について 関係団体への補助金の増額が望まれるが
- ・自治協力員の報酬について もう少し均衡化すべきでないか

#### 11月定例会

- ・市民協働はどこまで進んできたか
- ・水について 庁舎玄関前の池はいつまで枯れているのか
- ・芝中にプールがないが、建設を計画すべき

#### 25年2月定例会

- ・企業誘致について 富士市に遅れを取っている南稜工業団地について
- ・市の最上位計画である総合計画の「策定について 市長の想いや公約との整合性はどうか
- ・公有地の樹木の管理について

様々な課題について質問を行いました。成果を得た物もありますが、今後も取り組み解決しなければならない課題は多々あります。それらの解決に向け一所懸命取り組むと共に、新たな課題はないか地域をしっかりと見つめて行きます。

### 平成25年度予算について

須藤市長は市政方針の中で「今やらなければならないことは積極的に取り組む」「積極財政と健全財政の両立を意識した予算編成」と述べています。

本年度予算の特徴の一つは投資的予算が大きいことです。全体予算の14.8パーセント、58億円になります。昨年度は震災のため災害復旧費があって11.8パーセント、45億円でしたが、23年度は8.6パーセント、31億円でした。

大きな投資をすれば後年度に負担が回ってきます。これらの財政計画に眼を光らせていきます。

#### ○建設中また今後の建設計画

- ・駅前交流センター 26年4月開館 約9億円
- ・療育支援センター 26年4月開館 約3億円
- ・大富士公民館 26年7月着工 約5億円
- ・学校給食センター 28年4月竣工 約32億円
- ・富士根保育園 26年4月竣工 約4億円
- ・西消防署北分署建替え
- ・北山出張所 白糸出張所建替え など

## 25年度予算のポイント

○サル、イノシシから田や畑を守るための防護柵や電気柵に対して助成金が支給されます。

資材費の半額、上限 10 万円となります。

多くの皆さんに有効に利用して頂き、作った作物が収穫できる一助になればと願っています。



○富士ヒノキを使用した住宅に最高 30 万円の助成金が支給されます。但し 15 棟までの予算です。

リフォーム工事の助成金制度は昨年同様にありますが、富士ヒノキを使用したリフォーム工事ですと割り増しの助成金が支給されます。

予算に限りがありますので早めにお申し込み、また問い合わせをして下さい。

## 合併支援道路のその後

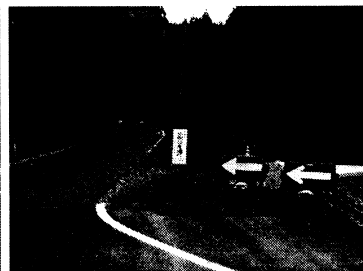
清水富士宮線の大久保地区、西山地区とも順調に進んでいます。

大久保地区においては、県道の工事に合わせて楠金地区へ上がって行く市道も改良工事が本年度着工します。

三沢富士宮線の改良工事も進んでいます。当初は待避所を所々に作るという風に聞いていたのですが、こんなに立派な道路ができてビックリです。



西山入り口の東側



左の写真の東側

三沢富士宮線の富士宮側の清水橋も工事が進んでいます。完成までもう少し時間がかかります。

## 合併後の地方交付税の検証

(単位：千円)

		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
普通交付税	富士宮市	798,289	69,910	48,858	102,266	2,587,675	2,507,446	2,711,456	2,740,000
	芝川町	764,778	753,338	804,606	842,103	(2,137,457)	(1,814,707)	(2,053,461)	
特別交付税	富士宮市	355,021	346,142	364,801	472,159	655,611	734,435	664,324	
	芝川町	93,475	112,430	124,983	231,789				

合併した22年度以後の数字ですが、普通交付税の欄のカッコ内の数字が本来新富士宮市として得る交付税額となります。上の数字が合併しないものとして富士宮市の得る交付税と芝川町が得る交付税を合計した数字です。つまり芝川分を足した数字です。この上の金額が現在交付されています。合併効果と呼ばれる金額で、22年度は4億5千万、その後は約7億円弱となっています。

この合併効果による交付税額は26年度までであり、その後5年間で徐々に減少し、5年後に無くなると約束されています。

無くなる分が収支アップでカバーできることが最良です。今後の市政運営に課せられた大きな課題です。

それにしても特徴的な事は22年度以降富士宮市の交付税の増加です。理由はいろいろ考えられますが、お陰で貯金が32億円にまでなりました。

## ①「富士の麓の都づくり」

2月定例会において政経会を代表して総括質疑を行いました。質問の一つが「市長の市政運営の理念は富国徳の理想郷ふじのくにづくりの富士宮版の実践とあるが、これをこの際、別の言葉で表現すれば富士宮市の今後の発展を示すキー

ワード、またキャッチフレーズになると思うがいかがか」と問いました。

市長は「富士山に恥じないまちづくり」「世界文化遺産に恥じないまちづくり」等言って頭を捻っていましたが、私からの提案があります。それが「富士の麓の都づくり」です。富士宮市を都にするのです。どうでしょうか。